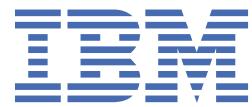


*IBM SPSS Modeler Server 18.3 for
Windows インストール手順*



目次

第1章インストール手順	1
システム要件	1
インストール	1
ターゲット	1
サイレントインストール	1
IP アドレスとポート番号	2
インストールのトラブルシューティング	3
インストール時の無効なデジタル署名	3
IBM SPSS Modeler Server のインストール後	3
IBM SPSS Modeler Batch のインストール	3
IBM SPSS Modeler を IBM SPSS Statistics と連携させるための構成	3
サーバー・ステータスのチェック	4
エンド・ユーザーへの接続	4
IBM SPSS Data Access Pack のテクノロジ	4
アンインストール	5

第1章 インストール手順

以下に示すのは、IBM® SPSS® Modeler Server バージョン 18.3.0 のインストール手順です。

IBM SPSS Modeler Server は、クライアントのインストール（複数も可）と組み合わせて分散型の分析モードで動作するように、インストールして構成できます。これにより、大規模なデータセットを使用する際にパフォーマンスが大幅に向上しますが、それは、データをクライアント・コンピューターへダウンロードすることなく、メモリー主体の操作をサーバー上で実行できるからです。分析を実行するには、少なくとも 1 つの IBM SPSS Modeler Modeler をインストールしておく必要があります。

新しいバージョンをインストールする場合は、常に、IBM SPSS Modeler Server 製品のホスト名とポート番号がエンド・ユーザーに配布されていることを確認してください。

システム要件

システム要件を確認するには、<https://www.ibm.com/software/reports/compatibility/clarity/softwareReqsForProduct.html> にアクセスしてください。

インストール

セットアップ・プログラムで、次のコンポーネントをインストールします。

- エンド・ユーザーの要求を管理する Windows サービス。
- データ・マイニング・プロセスを扱うソフトウェア。

注：セットアップ・プログラムが実行されるコンピューターのハード・ディスクに、IBM SPSS Modeler Server をインストールする必要があります。

Windows Server

- ダウンロードしたファイルをダブルクリックしてインストール・ファイルを解凍します。
- Windows エクスプローラーで、インストール・ファイルが解凍された場所に移動します。
- 「setup.exe」をクリックします。

注：管理者として setup.exe を実行する必要があります。

- 自動再生メニューで、「IBM SPSS Modeler Server のインストール」を選択し、画面に表示される指示に従います。

ターゲット

異なるフォルダーにインストールできますが、セットアップが開始されたコンピューターにインストールする必要があります（ネットワーク上の場所にはインストールできません）。

他のサーバー製品が搭載されているのと同じコンピューターにインストールする場合は、別のディレクターにインストールします。同じディレクターに複数のサーバー製品をインストールしないでください。

サイレントインストール

サイレント モードでは、自動的にインストールを実行できます。サイレント・インストールを実行すると、システム管理者はインストールの様子を確認したり、各種のプロンプトやダイアログボックスへの入力作業をしなくてすむようになります。この方式は、同一のハードウェアの多数にコンピューターに SPSS Modeler Server をインストールする際に特に便利です。

注：サイレント インストールを実行するには管理者特権が必要です。

Windows - サイレントインストール

Windows システムでは Microsoft Installer (MSI) を使用してサイレント インストールを実行できます。 MSI パッケージをインストールするには `msiexec.exe` を使用します。

以下のオプションを使用できます。

表 1. サイレントインストール オプション	
オプション	説明
<code>/i</code>	プログラムで製品をインストールすることを指定します。
<code>/l*v</code>	詳細ロギングを指定します。例えば、インストールのトラブルシューティングを行際にこの形式のログが役に立ちます。
<code>/qn</code>	外部ユーザーインターフェース シーケンスを実行せずにインストールを実行します。
<code>/s</code>	サイレント モードを指定します。
<code>/v</code>	セットアップ プログラムで、MSI 実行可能ファイル (<code>msiexec.exe</code>) に対して実行する呼び出しにパラメータストリングを渡すことを指定します。このオプションを使用する場合、以下の構文規則要件が適用されます。 <ul style="list-style-type: none">既存の引用符 (" ") の中のすべての引用符の前に円記号 (¥) を配置する必要があります。<code>/v</code> オプションとその引数の間にスペースを含めてはなりません。<code>/v</code> オプションを使用して入力される複数のパラメータはスペースで区切る必要があります。ログファイルを作成するには、コマンドの末尾にディレクトリーとファイル名を指定します。このディレクトリーはサイレント インストールを開始する前に存在している必要があります。
<code>/x</code>	プログラムで製品をアンインストールすることを指定します。

以下のテキストは、MSI コマンドの例を示しています。

```
c:¥>msiexec.exe /i ModelerServer64.msi /qn /l*v
c:¥temp¥Modeler_Silent_Install.log
INSTALLDIR="C:¥Program Files¥IBM¥SPSS¥ModelerServer¥19"
SERVERMOD=1
```

ここで、`SERVERMOD` の値は、使用するインストールのタイプによって異なります。以下の値から選択できます。

- 0** - 非実稼働モード。別個の非実稼働インストールを購入している場合、このオプションを入力します。このインストール環境は、実動使用に対応していません。
- 1** - 実動モード。実動インストールは、SPSS Modeler Server の標準インストールです。実動使用では、こちらが適しています。

Windows - サイレントアンインストール

以下のテキストは、ソフトウェアをサイレント アンインストールする MSI コマンドの例を示しています。

```
C:¥>msiexec.exe /x ModelerServer64.msi /qn /norestart
```

IP アドレスとポート番号

セットアップ・プログラムから、サーバー・コンピューターで使用するデフォルトの IP アドレスとポート番号が供給されます。ポート番号は、必要に応じて、構成ファイル (`options.cfg`) または IBM SPSS Deployment Manager に含まれている Administration Console を使用して更新できます。

インストールのトラブルシューティング

インストール時の無効なデジタル署名

IBM SPSS Modeler 製品は、デジタル署名に IBM 発行の証明書を使用します。特定の環境で、SPSS Modeler 製品をしようとする際に次のエラーが発生する場合があります。

Error 1330。キャビネットファイルのファイル名に無効なデジタル署名があるため、必要なファイルをインストールすることはできません...

すべての Windows ユーザー

インターネットに接続しておらず、正しい証明書がインストールされていないマシン上で SPSS Modeler 製品をインストールしようとすると、このメッセージが表示されます。この問題を解決するには、次の手順に従います。

1. 「OK」をクリックして、メッセージを閉じます。
2. 「キャンセル」をクリックしてインストーラーを終了します。
3. インストールするマシンがインターネットに接続していない場合、インターネット接続マシンで次のステップを実行し、.cer ファイルをインストールするマシンにコピーします。
4. <https://support.symantec.com> にアクセスし、「VeriSign Class 3 Primary Certification Authority - G5 ルート証明書」を検索して、ダウンロードします。それを .cer ファイルとして保存します。
5. .cer ファイルをダブルクリックします。
6. 「全般」タブで、「証明書のインストール」をクリックします。
7. 証明書インポート・ウィザードの指示に従い、デフォルトのオプションを選択して最後に「完了」をクリックします。
8. インストールを再実行します。

IBM SPSS Modeler Server のインストール後

このセクションでは、インストールの後で実行可能な、必須の手順とオプションの手順についていくつか説明します。ただし、使用可能な構成オプションをすべて説明するわけではありません。すべての構成オプションについては、「IBM SPSS Modeler Server and Performance Guide」を参照してください。

注：インストール ログはデフォルトではアンインストール フォルダに配置されます。例：
<Installation_folder_path>/Uninstall_IBM_SPSS_MODELER_SERVER/Logs.

IBM SPSS Modeler Batch のインストール

IBM SPSS Modeler Batch は、標準的な IBM SPSS Modeler Client の分析機能一式を提供しますが、通常のユーザー・インターフェースにはアクセスしません。バッチ・モードでは、ユーザーによる操作も、画面上でのユーザー・インターフェースの表示もなしで、長時間の作業や反復作業を実行することができます。IBM SPSS Modeler Server とともに分散モードで実行する必要があります(ローカル・モードはサポートされていません)。

1 ページの『インストール』の Windows Server 用の手順に従ってください。ただし、自動再生メニューで、IBM SPSS Modeler Batch のインストールを選択して、画面に表示される指示に従ってください。

詳しくは、「IBM SPSS Modeler Batch ユーザーズ・ガイド」を参照してください。

IBM SPSS Modeler を IBM SPSS Statistics と連携させるための構成

IBM SPSS Modeler で Statistics 変換ノード、Statistics モデル・ノード、Statistics 出力ノードを使用できるようにするには、ストリームが実行されているコンピューターに IBM SPSS Statistics のコピーがインストールされ、ライセンスが交付されている必要があります。

ローカル (スタンドアロン) モードで IBM SPSS Modeler を実行中の場合、IBM SPSS Statistics のライセンスが付与されたドライバーをローカル・コンピューターに搭載されている必要があります。

SPSS Modeler Client のインストールが完了したら、IBM SPSS Statistics との連携を構成する必要もあります。クライアントのメイン・メニューから以下を選択します。

「ツール」 > 「オプション」 > 「ヘルパー アプリケーション」

次に、「IBM SPSS Statistics」タブで、使用するローカルの IBM SPSS Statistics インストール済み環境の場所を指定します。詳しくは、「入力ノード、プロセス・ノード、出力ノード」のガイドまたはオンライン・ヘルプで、ヘルパー アプリケーションを参照してください。

また、リモートの IBM SPSS Modeler Server に対して分散モードで実行する場合は、IBM SPSS Modeler Server ホストでユーティリティーを実行して *statistics.ini* ファイルを作成し、IBM SPSS Modeler Server のインストール・パスを IBM SPSS Statistics に指定する必要があります。ライセンス設定を行うには、Windows の場合、IBM SPSS Modeler Server *bin* ディレクトリーに移動して、コマンド・プロンプトで次の文を実行します。

```
statisticsutility -location=<IBM SPSS Statistics_installation_path>/bin
```

また、UNIX の場合は、次を実行します。

```
./statisticsutility -location=<IBM SPSS Statistics_installation_path>/bin
```

IBM SPSS Statistics のライセンス認証されたコピーがローカル・マシンにない場合でも、IBM SPSS Statistics サーバーに対して Statistics ファイル・ノードを実行できますが、他の IBM SPSS Statistics ノードを実行しようとするとエラー・メッセージが表示されます。

サーバー・ステータスのチェック

1. IBM SPSS Modeler Server をインストールしたコンピューターで、「コントロール パネル」の「管理ツール」から「サービス」を選択します。
2. リストから、IBM SPSS Modeler Server を見つけます。サービスが開始されない場合は、名前をダブルクリックして、表示されるダイアログ・ボックスからサービスを開始します。サービスの始動が「自動」に構成されている場合は、コンピューターが再起動されるたびに、サービスが自動的に始動します。
3. 「OK」をクリックして、ダイアログ・ボックスを閉じます。

IBM SPSS Modeler Server は、認証を受けた場合にエンド・ユーザーからの接続を受け付ける準備ができます。詳しくは、トピック [4 ページの『エンド・ユーザーへの接続』](#) を参照してください。

エンド・ユーザーへの接続

エンド・ユーザーは、クライアント・ソフトウェアからログインして、IBM SPSS Modeler Server に接続します。ソフトウェアがどのように動作するか、また、ソフトウェアを管理するには何が必要かの説明は、「*IBM SPSS Modeler Server and Performance Guide*」を参照してください。サーバー・コンピューターの IP アドレスまたはホスト名など、接続に必要な情報をエンド・ユーザーに提供する必要があります。ローカル・ログオン・ポリシーに追加して、エンド・ユーザーのローカル・ログオンを有効化する必要もあります。Windows のコントロール・パネルから、「管理ツール」を選択し、「ローカル・セキュリティー・ポリシー」、「ローカルポリシー」、「ユーザー権限の割り当て」の順に選択、「ローカルでログオン」をダブルクリックして、ユーザーまたはグループを追加します。

IBM SPSS Data Access Pack のテクノロジ

データベースを読み書きするには、ODBC データ・ソースがインストールされていて、該当するデータベースに対して必要に応じて読み取り権限や書き込み権限が設定されている必要があります。IBM SPSS Data Access Pack には、この目的で使用できる ODBC ドライバが含まれています。また、これらのドライバは、ダウンロード サイトから入手できます。ODBC データ・ソースに関する質問がある場合は、データベース管理者に問い合わせてください。

サポートされている ODBC ドライバー

IBM SPSS Modeler での使用がサポートおよびテストされているデータベースおよび ODBC ドライバーの最新情報については、当社サポート・サイト (<http://www.ibm.com/support>) にある製品互換性マトリクスを参照してください。

ドライバーをインストールする場所

注: ODBC ドライバーは、処理が実行される各コンピューターにインストールして設定する必要があります。

- ローカル (スタンドアロン) モードで IBM SPSS Modeler を実行する場合は、ドライバーをローカル・コンピューターにインストールする必要があります。
- IBM SPSS Modeler をリモートの IBM SPSS Modeler Server に対して分散モードで実行する場合、ODBC ドライバーは IBM SPSS Modeler Server がインストールされたコンピューターにインストールする必要があります。
- IBM SPSS Modeler と IBM SPSS Modeler Server の両方から同じデータ・ソースにアクセスする必要がある場合、ODBC ドライバーは両方のコンピューターにインストールする必要があります。
- 端末サービスを介して IBM SPSS Modeler を実行する場合、ODBC ドライバーは IBM SPSS Modeler がインストールされた端末サービス・サーバーにインストールする必要があります。

アンインストール

1. Windows の「スタート」メニューから次の項目を順番に選択します。

1. 「設定」 > 「コントロール パネル」
2. 「コントロール・パネル」から、「アプリケーションの追加と削除」を選択します。
3. 左側の「プログラムの変更と削除」ボタンをクリックし、リストから IBM SPSS Modeler Server を選択して、「変更と削除」をクリックします。

注: コンピューターに IBM SPSS Modeler Server の複数のバージョンがインストールされている場合は、削除するバージョンを間違えないように選択してください。

アンインストールが完了すると、メッセージが表示されます。これには数分かかることがあります。

IBM.[®]